

FD NEWS LETTER

No.16



FD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称です。本学では、授業アンケート、FD研修会など、各種FD活動を実施しています。

今回は、2024年度活動実施内容等についてお届けします。

『FDニュースレター』は、年次報告として、FDに関する情報を取り纏め、情報を共有することにより、それぞれの活動を組織的な活動へと発展させるための一助として発行しています。

2024年度 活動計画

FD等の実施

（※組織的なFDとするために、各種委員会と協働して開催）

☆春学期は2024年5月25日（土）に全学教員協議会、
7月20日（土）に春学期FD研修会を開催しました。
秋学期にも以下の取り組みを計画しています。

☆秋学期全学FD研修会 （詳細については今後周知）

☆大学院FD研修会 （詳細については今後周知）

大学教育学会への参加

☆大学教育学会大会（6月）及び課題研究集会
（11月）への参加者の募集を今年度も行います。
開催後、参加教員による報告会を行います。

各種FD活動の報告

☆教員間で実施される、基礎ゼミ・語学会議・
学科会議等で行われるFD活動及び教育
改革に関するプロジェクトについて支援を行う
とともに、実施後に提出される報告書を取り
まとめ全学的に情報を共有しています。

学生による授業アンケート(Web形式)

☆今年度も各学期末に実施します。

学生による授業アンケートでは、科目毎の選択
質問項目の集計結果（詳細）を『学生による授業
アンケート結果』（冊子）にまとめており、
図書館で閲覧することができます。

また各教員にアンケート結果をフィードバックし、
各自の所見・改善点等を記入するコメントシート
を作成しています。

新規採用教員説明会

☆新任教員に対し、本学の建学の理念や教育研究に
対する考え方、ディプロマポリシーの説明など、
本学の教員として必要な事柄等に関する説明会を
毎年度4月に実施しています。

公開授業

☆例年同様、公開授業を実施する予定です。複数
コマ開講されている同一科目について、その担
当教員間の相互授業参観のあと、授業運営手法
や評価方法のすり合わせなどを実施します。

春学期FD研修会

2024年7月20日（土）に春学期FD研修を開催しました。

当日は、教員62名・事務職員2名が参加しました。

①FD講演

「意図せぬ研究不正を防ぐために」

大阪大学全学教育推進機構 中村征樹 教授

②大学教育学会大会参加報告

国際政治経済学部 藤井宏次 准教授

【春学期FD研修会を終えて】

講演会後にアンケート用紙とGoogle Formで受け付けた意見・感想の中からいくつかを紹介します。

- ・不注意から結局不正行為になってしまうという事例は、自分にも起こりえる。またプロシーディングと本論文との二重投稿の問題・区別も身近な課題であり有用であった。
- ・不注意・誤解によって意図しない不正はだれでも起こりえますが、それを防ぐための確認作業や研究者同士のコミュニケーションが重要だということを再認識しました。
- ・研究不正に該当する事を知らぬ間に行ってしまった可能性を改めて考えさせられた。自身の研究活動はもちろんだが、ゼミナールでの卒論指導や大学院生の研究指導においても気を付けるべき事柄を学ぶことができた。
- ・日本に限定せず、中期的な他大学の展望が、具体的かつ明確な説明をされて、有益だった。
- ・少子化とAIの教育介入という近年における大学のあり方を考える上で参考となる様々なお話を伺うことができました。
- ・初年次教育をめぐる取り組みは、本学の基礎ゼミナールのあり方にも参考になるところがあるのではないかなと思う。

2023年度 学生による授業アンケートについて

2023年度秋学期に行った「学生による授業アンケート」結果に対する授業担当者のコメントシートから授業改善への取り組み事例を抽出して、大学全体レベルでの授業改善の取り組みとして共有しました。

アンケート結果のフィードバックは学生からのコメントに教員も手応えを感じたり、改善点を見出したり、学生の学修成果や意欲を向上させるヒントを得られる重要な機会となっています。

2024年度は、この授業アンケートが学生自身の学修の振り返りとして、またこれからの授業をより良いものにするため重要であることを、実施に際してあらためて学生に説明して理解を促し、更なる回答率向上を図ることとしています。以下、授業担当者のコメントシートから一部をご紹介します。

2023年度秋学期に実施した授業アンケートにおいて、教員からのコメントシート提出数（回収率）は、専任教員：32名（48.5%）、非常勤教員：70名（42.4%）でした。

Google Classroomで小テストを活用し、学生にとっての不明点の把握を都度努めようと思います。

言葉によるテキストの説明や板書だけではなく、パワーポイントによる要点のまとめ、映像や音楽を含めた複合的な授業展開を工夫していきたい。

毎回実施する小テストのフィードバックについてはオンデマンドとし、それらを反転授業とすることで、講義内容の充実を図った。



二松學舎大學

2024年7月31日発行
【お問い合わせ先】 二松学舎大学 大学改革推進課

TEL: (03)3261-1285

FAX: (03)3261-7413

E-mail: gakumu@nishogakusha-u.ac.jp